これはるから、ここ抑えてて



秋、こども園の園庭はもちろん、休日明けは特にお休みの日に家族でのお出かけ先で出会った収穫物で溢れかえる。どんぐり、松ぼっくり、落ち葉。子ども達の**「ねえ、これで何か面白いことやろうよ！」**の声に人だかりができると、あんなに山盛りだった籠の中はあっという間に空っぽになる。







絵本を広げていた年長児の隣に年中の男の子が顔を覗かせる。**「これ作りたい」**思わず漏れた心の声に**「いいね」**と二人の遊びが始まった。ビニールテープや筒をアトリエから取り出すと**「ちょっとここ抑えてて」**と共同作品が徐々に出来上がっていく。異年齢で過ごすことで何倍にも広がる関わりの豊かさ。言葉以外にも伝える工夫が年長児から見られる。「そろそろ外行くけど…」との担任の声に手が止まり、「また明日！」と約束を交わす。





「明日は部品を追加して、こっちを高くしてどんぐりが転がるようにしなきゃ！忙しい！」との独り言に、明後日はスポフェスだよ…と思いながらも明日の計画を立派に立てる年長児を見ると、逞しく思う。**「明日も早く来なきゃ、僕がいないとこれ始まらないし！」**大好きと出会うことで広がる世界が年長児の安心感と充実感を支え、遊びを通して緩やかにつながり合う年中児との関わりの豊かさを感じた。

10/15 記録：福丸